

回復期リハビリテーション病棟Ⅰ（８階東・９階東）実績指数報告			
		大阪暁明館病院	
期間		2026年3月～2026年6月	
1，退棟患者数			
① 当該病棟の退棟患者数		162	名
② ①のうち回復期リハビリテーションを要する状態の患者数		160	名
③ ②の患者の区分内訳			
患者の区分内訳		患者数	割合
1	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態	33.0	20.6%
2	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は２肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	99.0	61.9%
3	外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	6.0	3.8%
4	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靱帯損傷後の状態	0.0	0.0%
5	股関節又は膝関節の置換術後の状態	18.0	11.3%
6	急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態	4.0	2.5%
2，実績指数			
④ 実績指数（⑥／⑦）		54.8	
⑤ 実績指数の計算対象とした患者数		120	名
⑥ ⑤の患者の退棟字のFIM得点（運動項目）から入棟時のFIM得転（運動項目）を除いた総和		2604	点
⑦ ⑤の各患者の入棟から退棟までの日数を該当患者の入院時に応じた回復期リハビリテーション病棟入院料の算定日数上限で除したものの総和		47.5	
		2026年	7月報告
④実績指数＝		⑥FIM得点（運動項目）退棟時－入棟時の対象者の合計+	
		⑦在棟日数÷入棟時の区分ごとの算定日数上限の合計	
※FIM：日常生活の自立度を運動項目と認知項目、計18項目で評価し、各項目を1～7の点数で評価します。 合計点は18～126点で、点数が高いほど自立しており、点数が低いほど介助が必要です。 運動項目：食事、更衣、トイレなどの日常生活動作に関する13項目を評価します。			
※実績指数は、数値が大きいほどリハビリの効果が高かったと評価されます。			
※回復期リハビリテーション病棟入院料1の算定基準では、実績指数が42以上を満たすことが求められます。			